

# 東日本大震災から一年

日本中に大きな被害をもたらした東日本大震災。矢板市でも震度5強の激震に襲われました。あの時、市内ではどのようなことが起こったのでしょうか。

- ・ 塀の倒壊やかわらの落下が起こった
- ・ 新幹線が停止した
- ・ 水道・電気などのライフラインが寸断
- ・ 電話が不通となった
- ・ 市内各地で道路が隆起し、通行止めが起こった
- ・ さまざまな情報が錯綜した

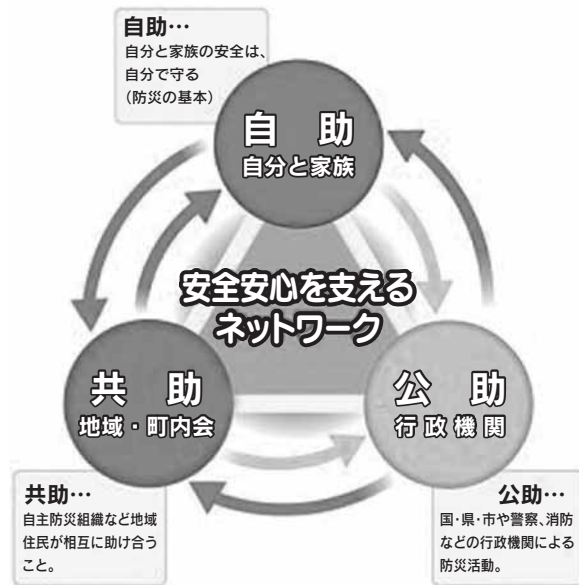
こうした状況のなかでは、市民の皆さんの「自分たちの街は自分たちで守る」という信念と連帯意識のもとに、初期消火、情報の収集伝達、避難誘導、被災者の救出・救護、応急手当、給食・給水などの自主防災活動を行っていただくことが必要不可欠になります。

そこで、このような時に、地域の皆さん自らの手による初期消火活動や被災者の救出救護、避難誘導、避難所の運営など自主的な防災活動が必要となってくるのです。

今回の東日本大震災においても、地域の皆さんが協力し合って津波からの避難誘導を行った事例や、倒壊した家屋への捜索活動などがあり、地域における自主的な防災活動の重要性が改めて認識されました。

右図にあるような「安全安心を支えるネットワーク」を構築していくためには、自分と家族を守る「自助」や国、県、市などの行政機関による防災活動の「公助」のほか、地域の皆さんが相互に助けあう「共助」の精神がとても重要です。

**皆さんも災害に対して地域で取り組む「自主防災組織」の設立について考えてみませんか。**



## 自主防災組織とは

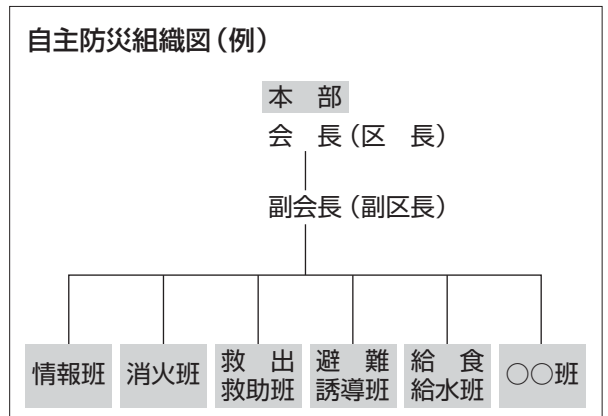
日ごろは、防災備蓄物資の整備や情報収集・連絡体制などの組織の整備を行います。また、災害を想定した地域防災訓練や救命講習の実施、広報紙を発行するなど、あらゆる機会を通じて会員の防災知識を深める活動を行っています。そして、災害が発生したときには、初期消火や救出救護、避難誘導、情報の収集・伝達など具体的な防災活動を行います。

## 市と自主防災組織(行政区)との連携

大規模災害発生時、市が災害応急対策を適切に実施するためには、迅速かつ的確に被害情報を収集する必要がありますが、市が独自に行う被害情報収集活動には限界があります。

そこで、地域の被害情報の伝達や、避難所を開設運営するにあたって、市と自主防災組織との連携が被害を最小限に抑えることができます。

今年度から、市内にモデル地区を設け、自主防災組織を推進していきます。



# ～災害に地域で立ち向かう～

## 3.11の震災で学んだこと

矢板市消防団 団長 藤田 實



今回の震災で私たちも多くのことを学びました。震災直後から、地域の各分団部員と力をあわせ給水活動や見回りにでました。

しかしそこで分かったことは、各地域の中で連携することの大切さです。消防団員の数にも限界があり、一人ひとりへの対応は、とても難しいものがあります。各地域ごとのまとまった組織と各地区の分団とが手を取りあえば、実に効果的な初動活動が行えることを実感しました。また、震災直後のさまざまな情報が錯綜する中で、各地域からの情報を正確に整理し、本部から各団員に的確な指示をすることの難しさを痛感しました。先日行った訓練(P8参照)では、無線が届かないところとの情報伝達方法や、大規模災害への対応を確認し合ったところです。

今後とも、地域の皆さんとの協力のもと、団員一同力を合わせて市民の皆さんの安心・安全のために、精一杯力を尽くしてまいります。

## ◎放射能対策

・空間線量率測定システムの設置  
文部科学省において、市民の皆さんの安全・安心の観点からモニタリングポストを市役所南側玄関に設置しました(右写真)

・食品中の放射性物質検査  
市では高感度のNaIシンチレータγ線測定器を導入し、学校給食や市内直売所で販売する農産物に含まれる放射性ヨウ素、セシウムの簡易検査を開始します。検査結果は、市ホームページに掲載します。

- ①学校給食等検査  
4月から、調理済みの給食をまとめて測定します。
- ②市内直売所で販売する農産物  
平成24年4月16日(月)から予約を受け付けます。  
詳しくは、下記にお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ  
①教育総務課 ☎(43)6217  
②農業振興課 ☎(43)6210  
問い合わせ/放射能対策班 ☎(43)1113  
HP <http://www.city.yaita.tochigi.jp>



## 義援金・物資の協力など

今回の大震災に際し、多くの方から市に対して義援金をいただきました。復旧・復興のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。(8月29日～3月15日現在)

義援金総額 7,812,550円 (敬称略・受付順)					
たかはら歌謡会	53,525円	日本郵政募金会	110,000円	矢板市商工会青年部	36,876円
劇団 絵生	14,533円	(株)イト音楽企画	64,112円	真宗大谷派	500,000円
矢板市スタンプ会	31,550円	がんばろう矢板	200,000円	がんばろう矢板	5,500円
がんばろう矢板	369,000円	矢板市消防団	20,000円		

問い合わせ/矢板市災害対策本部(総務課内) ☎(43)1113